

事業名

オンライン英会話事業

事業実施体制

名称	役割
教育長	事業全体のマネージメント、進捗管理
教育委員会指導室	関連部署との調整、オンライン英会話レッスンの運用、事業計画の立案、導入に向けた契約行為等、各校への周知
教育政策課	システムの調達、関連部署との調整サポート
秘書広聴課	市民への周知
稲敷市教育委員会	事業に対する評価、助言
事業者	事業全般の管理
各中学校長	事業実施に係る指導、管理
教育研究会英語部会	生徒への指導、実践
学校運営協議会	取り組み内容への評価

事業費

	経費項目	金額（千円）
R7	中1（2,161人×980円）中2（2,227人×980円）中3（1,214人×980円）×1.1	6,039
	ヘッドセット（748個）	1,498
	合計	7,537
R8		
	合計	
R9		
	合計	

KPIの達成状況

KPI①		単位	年度	目標値	実績
中学生1人当たりの年間のオンライン英会話レッスン実施時間		分	R7	600	300
		分	R8	600	
		分	R9	600	
達成・未達成の理由	実施初年度であり、また年度途中からオンライン英会話レッスンを実施したことにより、他の授業との調整に苦慮したため。				
今後の取組方針	年度当初からの計画的なカリキュラム編成を進め、時間割の早期確保に努める。また、事前準備の効率化を図ることで、予定された実施回数を確実に達成し、運用の円滑化を目指す。				

KPI②		単位	年度	目標値	実績
英語に興味を持つ生徒の割合		%	R7	75	89.4
		%	R8	80	
		%	R9	85	
達成・未達成の理由	一対一のオンライン英会話を通して、生徒が英語を「勉強」ではなく「楽しいコミュニケーションの手段」と感じられる仕組みづくりができ、英語でコミュニケーションする楽しさや必要性を実感できたことで、英語に対する興味・関心が高まったと考える。				
今後の取組方針	教科書の内容と一対一のオンライン英会話の内容を住環することで、生徒たちがインプットした知識や技能を英会話でのコミュニケーション活動でアウトプットできるようにすることで、生徒の英語に対する興味・関心を高める。				

KPI③		単位	年度	目標値	実績
中学校3年生の英検3級合格者割合		%	R7	20	9.2
		%	R8	30	
		%	R9	40	
達成・未達成の理由	英検3級の二次試験に必要なスピーキングの面接実践力の育成、また、外国人講師への「英語が通じた」という成功体験が自信となり、生徒の学習モチベーションを大きく引き上げてきたが、合格率の上昇にはつながらなかった。				
今後の取組方針	一対一オンライン英会話を実施することにより、さらなる面接の実践力を育成するとともに、各中学校に勤務しているALTとの融合した授業を行うことで、英検3級合格に必要な英検二次試験対策を計画的に実施する。また、当市において実施している英検対策講座への受講を推奨していく。				